

広報ただみ診療所

带状疱疹の予防接種(シングリックス)をお勧めします！

わかやま たかし
朝日診療所 所長 若山 隆



今回は、带状疱疹という病気の予防接種についてお話させていただきます。

带状疱疹という病気はみなさんご存じでしょうか？皮膚にぼつぼつが带状にできて、痛くなる病気です。専門的にいうと、水痘・带状疱疹ウイルスによって引き起こされる病気で、初感染では水疱瘡（みずぼうそう）になりますが、このときにウイルスが神経内で休眠・潜伏する状態となり、何らかの原因で免疫システムが不調をきたしたときに再活性化し神経から表皮に感染・発症します。ウイルスが神経に感染するので、带状疱疹を発症すると痛み（神経痛）がでます。これがやっかいで、場合によっては、ウイルスがいなくなって皮膚がきれいになったあとも神経痛だけが長引いて苦しむことがあります。ひどい場合は何年も神経痛が残存することもあります。加齢とともに罹りやすくなる病気でもあり、また神経痛も残りやすくなります。

この带状疱疹に有効な予防接種が現在2種類あります。表に比較を載せておきます。シングリックスというワクチンは、有効性が高く、効果も長く持続します。2回接種が必要で費用も合計5万円近くかかりますが、長引く神経痛で苦しまないで済むようにぜひご検討ください。接種をご希望の方は診療所（0241-84-2221）にお問い合わせください。

	弱毒生水痘ワクチン	シングリックス
発症予防効果	51%	90%以上
神経痛予防効果	67%	89%（70歳以上の方で）
効果持続期間	5～8年でほぼ消失	8年後でも84%の有効率
副反応	水痘様発疹（1～3%）	痛みなど局所反応（30～40%）
費用	1回接種 税込み9050円	2回接種 1回税込み24370円
対象者	50歳以上	50歳以上

地域おこし協力隊として Vol.92

はらなが まどか
只見町教育振興協力隊 原永 円香



はじめまして。4月からただみ・モノとくらしのミュージアムに学芸員として入職致しました。7月22日の開館に向けてこの4か月弱を慌ただしく過ごしておりました。引っ越してきた3月下旬は、まだ雪も残っていて、春とは思えぬほどの寒さに凍えていました。しかし、気が付けば汗ばむ季節になり、あっという間に開館を迎えてしまいました。私は埼玉県育ちで雪国での生活は初めてです。3月の初旬と中旬にミュージアムの会議のために只見町を訪れましたが、あまりの雪の量に驚きました。（これでも溶けてきたんだよという言葉にまた驚くこととなりますが。）今年は積雪の量が多かったこともあり、蔵が壊れるなどの被害を受けた家が多かったようで、4月から蔵を壊す前に収集できる民具がないか見てほしいと依頼をいくつも受けました。ただみ・モノとくらしのミュージアムは、「会津只見の正倉院」となるべく活動をスタートしたばかりです。奈良の正倉院のように末永く只見町の“宝”が保存活用されていくよう、私も頑張っていきたいと思っています。また、このミュージアムが町民の、そして来館されるすべての方の交流の場となるよう活動していきたいです。

只見町での暮らしは季節の移り変わりを自然や植物の変化によって感じる事ができるのが素敵だと思います。いずれ来る雪中の運転に怯えつつ、これからも楽しんでいきたいと思っています。勉強不足の点多々あるかと思いますが、よろしく願い申し上げます。